

ウォール街占拠運動とインターセクショナルリティー:ジェンダー、セクシュアリティ、人種

2011年9月17日に始まるウォール街占拠(Occupy Wall Street)運動は、ウォール街近くのズコティ公園の占拠運動から全米、世界へ広がりました。2011年11月15日の強制排除後も、オキュパイ運動として、コミュニティや様々な社会運動のなかに、その運動は持続しています。これらの運動は、新しい運動の方法と課題を提起しましたが、他方、運動内部に、従来の運動が抱えてきた様々な問題や矛盾を表出させました。

I

ウォール街占拠 (Occupy Wall Street / OWS) 運動とは、どんな「運動」

movement = 「運動」? 「運動」 ではない movement

movement – 活動、動き、動向、進展、変化、活気、成り行き、**発芽、物腰、態度**

emergentな動き/動向とは? emergent = 現れ出る。緊急の、不意の。哲学的には、創発の; 創発進化論(進化の過程には予測できない形質の出現があるとする説)

organizing = 有機的に組織的構造を与えること、組織化すること。編制すること等。

emergent organizing は?

II

アナキズム、OWS の「方法」、と主体

horizontality = 水平性 の試み、ヒエラルキーなしの「編制」「動向組織」

consensus = 同意。この consensus は、「共に」という意味と「感じた」という二つの意味を含む。「皆と共に同じことを感じた」

一般的には、意見、感情の一致。又は、総体的合意、統一見解としての使用。

◆ Is Consensus a “white thing?” (a middle class white thing? An elitist form of oppression?)

ホワイトなものとは「白人」の、(白人優位的な結果を作る習慣)、中産階級の習慣、エリートが抑圧するフォーム

◆ 反論(ホワイトなものではない) の例として、色々な文化的習慣が例としてあげられる一例え
ば: David Graeber

<http://occupywallstreet.net/story/some-remarks-consensus>

8月2日に『決めた』というレフェレンスから始まり、どうしてこれがホワイトなものとしてみられるかが分からない、と指摘。アジア/アフリカなどの文化のなかで習慣として存在しているものなども指摘。また、規則というよりもっと順応性のある「方法」としてOWS応用。

<http://www.nycga.net/resources/general-assembly-guide/>

- ◆ 実際、集会などでは、その共用できる「感じ」を見いだすまでに必要な時間の制限があるということ。プロセスとして共有されるコンセンサスと、共有された事項。
- ◆ 妥協する、譲りということの習慣を持っている主体。譲ったと「感じる」主体。

III

ズコッティ「以後」の OWS とは (1)

撤去させられた時点。

- ◆ 日常の再生産の工夫。(ジェンダー分業されていたものがそうでなくなった「時」という時の労働の変容)

スペースと時 – 新しい 社会性? それとも、根本的日常生活の再生産としてみなされていないか? 労働の共有? 誰にとって、「新しい」ことか

- ◆ コモンズ – 共有、共同、共通 (歴史的には、共有地、公有地「囲いのない草地、荒地」 入会地、入会権)
- ◆ ジェンダーの問題が浮き上がってくる、共同生活の場。性的ハラスメント。「何」が社会的制約を反映していて、「何」がそうでないか。そして、そのような「事件」があった場合、警察を関係するか、しないか。「しない」と決めるのは誰が? どのような立場から決めるか。
- ◆ 実際にあったことで、レイプ。
- ◆ 日常的にある、差異の問題として。野宿している女性でも、体験がどのように違ってくるか。所謂異性愛者がカップルとして「存在」している「場」は? 一見「一人」でいる「女性」は?
- ◆ 女性占有のテントの必要性。そのようなスペースが必要であるということと、作ったので、そこは「セーフ/安全」である、とされること。

IV

ズコッティ 以後 (2)

スポークスというサークル状(丸く座る?)のアセンブリー

- ◆ 特権的な存在としての ジェンダー、人種、セクシュアリティ
- ◆ Council of Elders / Judson Memorial 長老の評議会 (11.21.2011)
- ◆ Racial Justice Framework 人種的公正(公平)枠組みについて (12.15.2011)
- ◆ Feminist General Assembly (2012 春から夏)
- ◆ ハーレムでの Feminist General Assembly 「誰が」People of Color として認められるか。運動の desire、希望、欲望、要求

V

新しく、創発的社会性と「歴史」遺産との交差—歴史的、「経験」として語られる歴史がつくる主体。アイデンティティとして片付けることのリスク。